

医工連携イノベーション推進事業（開発・事業化事業）
事後評価報告書

1. 補助事業課題名 : 脳動脈瘤治療用多孔化カバードステントに関する開発・事業化
2. 補助事業代表者氏名（所属） : 雲山 賢一（株式会社グッドマン）

<評価コメント>

国立循環器病研究センターとの協力体制の中、事業を推進し、モノを作るという観点で一定の成果があった点は評価できる。

しかしながら、Pipeline Stent 等既存の有効な製品が存在する中での参入であり、本製品がどこまでのニーズがあるのかは疑問である。命に直接的に関わる疾患であり、既存製品の何らかの問題点を明確にクリアしているような製品でないと、疾患的に後発品が代替するのは容易ではない。今後の事業継続については、慎重に検討いただきたい。

以上